

特別委員会委員長報告

《行財政改革推進特別委員会》

3月議会以降の協議事項は以下の通り。

① 住宅新築資金等貸付金の滞納整理の状況

平成24年度当初の滞納調定額4億8902万2947円は、3月31日までに2612万5246円を徴収、4261万9432円を不納欠損処理し、4億2027万8269円まで減少。債権数は、当初158件が完済8件、欠損処理し、14件で136件となる。本年度は滞納残高4億円を切ることを目標にするとのことであった。

② 市営住宅使用料等の滞納整理の状況

本年、5月1日現在、滞納人数51人、73債権で704万2640円の滞納。内訳としてワースト10名13債権で532万5340円の滞

納額は全体の4分の3になる。その10名中7名は既に退去しているが債務名義は取得済み。2名は分納誓約も履行状況が悪いため、明け渡し請求を行う。

③ 市有財産の管理・活用の状況

市街化区域内、土地、建物10件の調査、経過報告を受けた。進捗案件として、旧さくら保育園は解体工事完了にて売却を準備。専売公社社宅跡地、旧前山市営住宅は必要事務処理後、インターネット公有財産売却を予定。次に廃棄公用車の処分についてオークション出席結果として、85万8千円の収入あり。他に5台を金属として売却、31万5千円の売却収入ありとの説明。

④ 入札の現状等

24年度実績、1503件、内入札成立は113件、金額13億6780万8千円、落札率は86・1%。不落の状況として、入札中止36件、不落1件。入札中止36件は再入札行っても12件が再び入札中止となる。質疑では、災害の件数が多い場合や、発注時期が1・2月となった場合は、年度末までの工期がなくて中止、不落となる。

《定住人口増加促進特別委員会》

第1回定住人口増加促進特別委員会を開催（4月23日）

定住人口増加促進特別委員会（以下、特別委員会）を運営するに当たり、昨年9月に執行部が設置した香美市定住促進対策検討委員会（以下、検討委員会）の取組み状況の説明を受けた。

定住人口増加促進特別委員会（以下、特別委員会）を運営するに当たり、昨年9月に執行部が設置した香美市定住促進対策検討委員会（以下、検討委員会）の取組み状況の説明を受けた。

今後住宅対策に特化し、それに係る都市計画の見直し等、その中では変更手続き、法のたてり等について検討を加え、意見をまとめていく。

特別委員会・2回目（5月28日）

都市計画の見直しについて法的なことや見直しの手順、また見直し可能なことや困難な理由などについて、担当課から説明を受けた。

今後は策定方針やスケジュールを決め、議会の「特別委員会」との関わり方についても検討していくとの説明があった。

議会としては、急ぐものは順次進め、その都度、提案すべきは提案していくことを明らかにした。

定住促進のためには、住宅・宅地対策が欠かせない。

執行部との質疑の上、特別委員会としては、

質疑で、市街化調整区域の線引きの説明や県が進めている見直しの検討内容、そして、どのような手順で進めれば線引きの見直しが可能となるのか。また、地区計画を推進するための決まり事、そして、住民の流出を防ぐ手段等について、意見交換を行い次回につなぐこととした。



夕涼み会（大柝保育園）